

「実践的キク栽培論、実践的トマト栽培論」 2022年度 第2期生 募集要項

豊橋技術科学大学は、公益財団法人 功農支援会及びイノチオホールディングス株式会社と共同で篤農家の栽培技術を分析、評価し、その技術を体系化したe-ラーニングプログラムを作成しました。そして、2021年度より、「社会人向け実践教育プログラム」として「実践的キク栽培論、実践的トマト栽培論」を開講しました。

愛知県東部の東三河地域は、国内有数の先進的農業地帯で、キク及びトマト栽培の盛んな地域です。しかし、近年、需要の減少、価格の低迷、光熱費の高騰、高齢化等により、経営環境の悪化や産地の弱体化が進展しつつあります。当大学では、上記プログラムの開発に加えて、その他農業技術が習得できるプログラムを加えて、『キク経営者、トマト経営者』を養成します。これにより、競争力のある攻めの農業を展開して、基幹産業である食農産業を活性化し、地域再生を図ります。

そこで、2022年度「実践的キク栽培論、実践的トマト栽培論」の受講生を以下の要領で募集します。

1. 募集人員： 実践的キク栽培論、実践的トマト栽培論 計5名
(コース選択制)
2. 受講期間： 2022年10月3日(月)～2023年3月
3. 受講場所： 国立大学法人豊橋技術科学大学 他
(オンライン講義の場合もあり)

4. 人材育成内容

豊橋技術科学大学等において、これまでに蓄積した技術科学的な成果を踏まえて、キクまたはトマトの栽培、経営へ新規参入を検討している農業者や後継者、青年農業者を対象として、篤農家の栽培技術を分析、評価し、体系化した実践的プログラムを履修することにより、キクまたはトマトの栽培、経営において、その実施に向けた意思決定ができる人材を育成します。

『実践的キク栽培論、実践的トマト栽培論』の受講生には、豊橋技術科学大学IT農業サポートセンターを通じて、最新のIT情報と農業情報が提供され、IT農業ネットワークを形成しながら地域の中核農業者となる道が開かれます。また、愛知県や豊橋市等の地域自治体、JAあいち経済連、食農関連企業および、地元企業などと連携した活動の支援を受けることができ、キク、トマト経営に関して、農商工連携、農業の6次産業化のノウハウを得ることも可能です。

※修了者には修了証が授与されます

5. 受講資格

- (1) 高等学校卒業程度の学力を有する者
(本学において、同等以上の学力があると認めた者を含む)
- (2) 心身ともに健康で、食農産業の振興に強い関心を持つ者
- (3) パソコン等を所有し、使いこなすことができ、自宅でインターネットへの接続ができる者

6. 授業時数

- (1) 実践的キク栽培論 63.1 時間
 - 1) 教室講義 2科目 25 時間
 - 2) e-ラーニング 10 科目 38.1 時間
- (2) 実践的トマト栽培論 58.5 時間
 - 1) 教室講義 2科目 25 時間
 - 2) e-ラーニング 7 科目 33.5 時間

7. 受講料

- (1) 4万円
ただし、下記に掲げる者は、それぞれ各項目に定める額とします。
 - A) 豊橋市または田原市在住・在勤者・・・2万円
 - B) イノチオホールディングス㈱からの推薦者・・・2万円
 - C) 農林水産業従事者およびJAまたは農業経営を行う法人に所属する者、新たに農業経営を始めようとする者(*)・・・3万円
- (*) 認定新規就農者として自治体から認定を受けている者、農業者等で新規就農のための研修を受けている者等
- (2) 納入期限
受講料は、講義開始前日までの本大学が指定する期限までにお振り込みください。
(振込手数料は、受講者の負担となります)
- (3) 受講料の返還
納入された受講料は、原則返還いたしません。

8. 応募書類

応募書類の書式は、下記URLからダウンロードしてください。

<http://www.recab.tut.ac.jp/contents/kikutoma/entry.html>

- (1) 様式1「志願書」
- (2) 様式2「履歴書」
- (3) 様式3「志望動機」【500字程度】
- (4) 大項目7 受講料のただし書きに該当する場合は、それを明らかにできる書面
 - 1) 運転免許証など住所が確認できる身分証の写しや健康保険証・社員証など在職を確認できるもの（豊橋・田原在勤者）の写し

- 2) イノチオホールディングス(株)の推薦状（別紙様式参照）
- 3) 農地台帳・組合員証・健康保険証・社員証などの写し、研修先の推薦状など

※（4）の提出がない場合、受講料は4万円となります。

※提出された応募書類は返却いたしません。

9. 出願期間 : 2022年7月4日（月）～ 8月19日（金） 必着

10. 選考方法 : 書類審査により選考を行い、場合により面接を行うことがあります。

※選考結果は、合否にかかわらず9月16日（金）までに書面でお知らせします。

11. 応募書類の作成要領

応募書類は、志願書、履歴書、志望動機が必要です。

以下の各項を参照の上、パソコンで作成してください。

(1) 志願書（様式1）

様式1に記載されている全ての欄に記入の上、氏名欄は必ず自署してください。

(2) 履歴書（様式2）

写真欄には、上半身・無帽・正面向き・背景無地のもので志願前6か月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。

(3) 志望動機（様式3）

本プログラムを受講するにあたり、志願者本人の志望動機をA4判1枚（500字程度、文字サイズ12pt、明朝体）で作成してください。

12. 応募書類の提出・問い合わせ先

応募書類は封筒に入れ、『実践的キク栽培論、実践的トマト栽培論受講希望』と朱書し、下記の提出先に簡易書留で郵送してください。

提出先・問い合わせ先：

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

国立大学法人 豊橋技術科学大学

技術科学イノベーション研究機構 先端農業・バイオリサーチセンター

実践的キク、トマトコース担当係

電話 : 0532(44)6655

E-mail : kikutoma@recab.tut.ac.jp

◆ 詳細はWebサイト (<http://www.recab.tut.ac.jp/>) に記載しています。

※個人情報の取扱いについて

志願時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、本事業の実施に必要な範囲にのみ利用し、他の目的には使用いたしません。

(注意) 講師、会場またはその他都合により、日程、講義方法の変更や、場合によってはプログラムを中止することがあります。